

野村総合研究所のタイ・バンコク拠点が始動

主催：野村総合研究所タイ 開催日：2013年7月12日 会場：シェラトン・グランデ・スクンビット（バンコク）

成長著しいASEAN（東南アジア諸国連合）における4番目の拠点として、NRIグループは2013年1月、野村総合研究所タイ（Nomura Research Institute Thailand、以下、NRIタイ）をバンコクに設立し、4月より営業を開始した。

これを記念して、7月12日にバンコク都内のホテルで、在タイ日系企業などを招いた「NRIタイ開設セミナー」と懇親会、報道関係者を集めた記者説明会を開催した。

本セミナーでは、常務執行役員・コンサルティング事業本部長の此本臣吾の挨拶に続き、NRIタイ社長の水野兼悟が、タイやASEANのビジネスの現状と、今後、NRIタイが進めようとしている事業活動について発表した。さらに、グローバル製造業コンサルティング部の小林敬幸が「ASEAN統合による産業構造変化と日本企業の戦略」と題し、自動車産業を例に挙げて、ASEAN各国の事情および進出している海外自動車メーカーの状況を解説し、日本企業が取るべき施策を提言した。最後は、執行役員・コンサルティング事業本部副本部長の村田佳生の挨拶でセミナーを締めくくった。

続いて開催された懇親会では、NRI代表取締役社長の嶋本正が開会の挨拶を述べ、タイ政府より投資委員会（BOI）のチョクディー・ゲウセン副長官、日本大使館より岩間公典公使が来賓として挨拶した。セミナーと懇親会には、タイと日本の政府機関、在タイ日系企業などから百数十人が来場した。また、日本をはじめ、シンガポールや香港、インドなどアジアの各拠点から集まったNRIグループ社員が来場者との交流を深めた。

さらに、日系媒体の記者13人が集まった同日開催の記者説明会では、嶋本と水野が登壇し、NRIの中国・アジア戦略を説明した。記者からは、今後のタイにおける有望産業や、NRIのタイでの事業展開について質問があった。この記者説明会の模様は、タイで発行されている日本語新聞・雑誌などに大きく取り上げられた。

タイは自動車産業や電子産業などの分野で日系製造業の集積が進んでいる。加えて、2020年ごろには、タイ国民の1人当たりGDP（国内総生産）が1万ドルに達すると見込まれ、台頭する富裕・中間層をターゲットとしたサービス業の進出・発展も続いている。

NRIタイは、投資委員会より投資貿易促進支援およびソフトウェア開発に関する事業承認を取得しており、日本企業および他のグローバル企業に対して、コンサルティングおよびシステムソリューションサービスを提供する。また、ミャンマーなどメコン川流域諸国への日系企業の関心の高まりを踏まえ、こうした国に関する投資環境調査や、現地パートナーとの合弁事業推進等のコンサルティングなどを通じて、日系企業のASEANにおける事業拡大を支援していく。

NRIグループでは、今後も日系企業のグローバル展開への支援を積極的に進めていく。

本セミナーについてのお問い合わせは下記へ

野村総合研究所タイ 水野

電話：+66 2611 2951

電子メール：k-mizuno@nri.co.jp